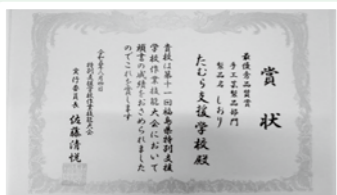


# 福島県立たむら支援学校だより vol.19

## 高等部 作業技能大会 最優秀品

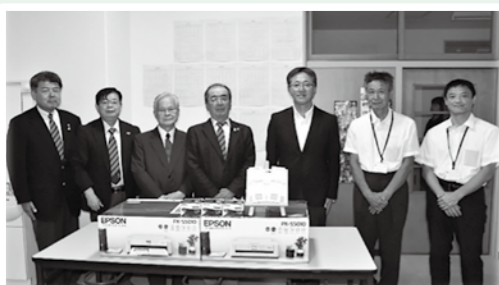


8月4日に行われました第11回福島県特別支援学校作業技能大会において、高等部 合同職業 家庭班の製作した「しおり」が、手工芸製品部門で『最優秀品質賞』を受賞しました。

よりよい製品に仕上げるために、生徒たち自身が戦略会議を重ね、田村市の花や鳥、文化財をモチーフにデザインを考え、刺しゅうによるさまざまな工夫を施し製品化しました。

この「しおり」は、船引高校の図書室最多利用生徒への副賞としても活用いただいています。

## 田村ライオンズクラブ 50周年記念 物品寄贈 贈呈式



9月4日、田村ライオンズクラブ(会長 渡辺宜則様) 50周年記念事業として、カラープリンター2台、タブレット端末用タッチペン5本、プリンターインク3パック(約10万円相当)を寄贈いただきました。

## 田村市 灯籠流し大会 実行委員長賞受賞

8月20日、田村市恒例の灯籠流し大会が開催されました。本校の子どもたちが造った灯籠も出品し、高等部の作品が「実行委員長賞」を受賞しました。来年も受賞を目指します。



## 文珠地区ソフトボール大会参加

8月27日、文珠地区のソフトボール大会が春山校舎グラウンドで行われ、本校教職員有志チームが参加しました。春山、石森、文珠地区の皆さんと交流を深める貴重な機会となりました。来年も参加したいです。

## 福島県立たむら支援学校



【春山校舎】Tel…0247-82-4114 Fax…0247-82-4119  
 【石崎校舎】Tel…0247-82-4627 Fax…0247-82-4629  
 HP…<https://tamura-sh.fcs.ed.jp> mail…[tamura-sh@fcs.ed.jp](mailto:tamura-sh@fcs.ed.jp)



# 田村市の文化財

問教育部 生涯学習課 81-12115

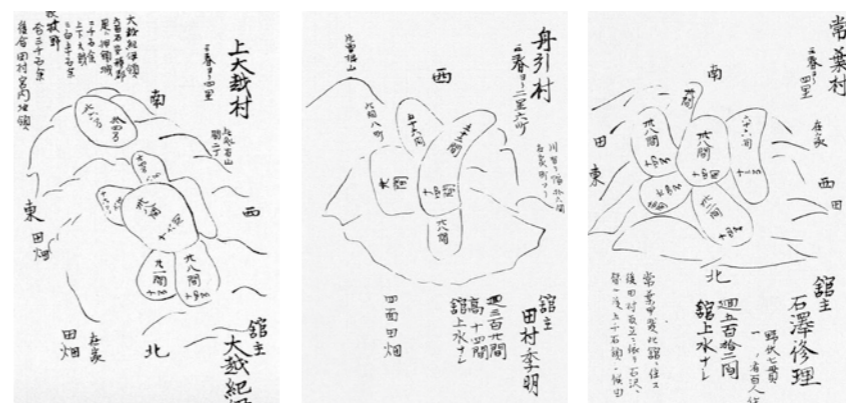
## 『城館跡』

城館とは、その地を治める領主や武士が住む屋敷と、戦の際に防衛するための機能を持った城郭を兼ねた建物のことをいいます。敵から攻められにくいところに屋敷を構え、その周囲を土で盛った土塁や堀などで囲みました。城という「立派な天守閣」をイメージされるかもしれませんが、あくまで城は戦のための防衛施設を意味します。天守閣とは、城の中に建てられた遠くを見渡すための高層建築物で、市には天守閣を有した城はありませんでした。

城跡、館跡と呼ばれるところは現在も残っており、市には中世城館跡が90カ所以上確認されています。今回はその中から、常葉町に所在する市指定史跡「常盤城跡」と、船引町に所在する「船引城跡」、大越町に所在する「大越城跡」について紹介します。

「常盤城跡」は、常葉小学校の北東にある小高い山にあります。常盤城は別名「旭城」ともいいます。築城年は不明ですが、文永年間(1264~1275)に熊谷直則が築いたとされています。熊谷氏の後、赤松氏が城主となり、姓を常盤に改めましたが、常盤貞久の時に三春城主・田村清顕により城主を追われ、田村氏家臣・石沢修理亮が城主となりました。

「大越城跡」は、大越中学校の南にある小高い山にあります。大越城は別名「鳴神城」ともいいます。築城年は不明ですが、永祿年間(1558~1570)に大越顕光が築いたとされています。顕光は田村清顕の重臣で、清顕没後に相馬派となり、伊達



※江戸時代に書かれた「田村家領内古館帖」掲載の常盤城(右)、船引城(中)、大越城(左)

した。しかし、清顕没後の天正17(1589)年に相馬・岩城連合軍に攻められ落城し、廃城となりました。城跡は現在、館公園として整備されています(公園内に城型展望台の模擬天守が建っていますが、当時はありませんでした)。

「船引城跡」は、東邦銀行船引支店の背後にある小高い山にあります。田村清顕の叔父にあたる田村憲頼が築いたとされます。清顕没後、家中は伊達派と相馬派に分かれ、天正16(1588)年に相馬義胤が三春城の乗取りに失敗した際、義胤は相馬派の田村清康(憲頼の子)が城主だった船引城に籠りますが、伊達政宗に攻められ、城を脱しました。その後、政宗により清顕後室(義胤の叔母)を船引城へ隠居、清康を船引城から退去させることが決定されました。城は文禄4(1595)年に破却され、城跡は現在、館山公園として整備されています。

次回は「田村市初の衆議院議員 菅村太事」を紹介する予定です。  
 田村市の文化財一覧はこちら▶▶▶



広告欄 Advertisement

# 有料広告募集中

問い合わせ…総務部 総務課 (☎0247-81-2117)へ